

令和6年度使用教科書選定理由書

選定に係る基本方針

県立戸田翔陽高等学校

本校では、物事に主体的・対話的に取り組む態度を身につけさせ、また、異文化や多様な考え方に寛容な多様性を尊ぶ豊かな心を育むことに努めている。さらに、基礎・基本の知識・技能の習得を土台とし、これらを活用して課題解決に立ち向かい、多様な人々と協働できる態度と「言語能力」の養成に重点を置いている。

そこで、これらを具現化し、もって生きる力を育む一助とするため、以下の4点を重点目標として教育活動を展開している。

- 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、生徒の学ぶ意欲を喚起し、学習の基盤となる「言語能力」を育成する。
- 2 かけがえのない存在、必要とされる存在としての自尊感情及び徳性を涵養する。
- 3 探究する力を育て、多岐にわたる進路希望の実現を系統的・組織的指導で支援する。
- 4 学校外資源を活用した実社会からの学びを充実するとともに、学校の力を地域で生かす。

本校は3部に分けて昼夜開講する定時制課程の総合学科である。生徒一人一人が自分の抱える困難を考えて部を選べ、また、多様な進路希望等に応じた教科目を学校の意思として開設している。これらを受け、義務教育段階で休みがちだった者、外国につながる者等が入学する割合が高い傾向にある。義務教育段階での学修、基本的生活習慣の定着及び母語の相違等、日本の高等学校段階での学修に不安を感じる生徒が少なからずいる。

以上を踏まえ、法令等のもとより校長の学校経営方針等のもと、次の4観点を踏まえた各教科による十分な調査・研究と教科書選定委員会における審議を重ね、公正に選定するものとする。

- 「目指す学校像」の実現に、適切なものであるか
- 各教科・科目の基礎的・基本的な知識及び技能を習得できる工夫がなされているか
- 生徒の実態、学習経験、興味・関心等に応じた配慮がなされているか
- 表記・表現や図表、挿絵、写真等の資料等が生徒の理解の促進につながるものか